

広島湾さとうみ創生コミュニティ主催

「潮干狩り」を通して広島湾の環境を考えました！

6月15日（金）に広島湾さとうみ創生コミュニティ主催のワークショップに参加しました。井口漁業協同組合にご協力いただき、アサリの生態やナルトビエイ等による食害と対策についての説明後に、実際に干潟でアサリを掘りながら様々な海の生き物を観察しました。干潟にはナルトビエイがエサを探して掘った丸いくぼみが多くあり、温暖化のため冬でもナルトビエイが南下せずに広島湾に留まる時期が長くなっていることを知りました。また、一時期、アサリが育たない時期があったようですが、干潟にネットを引いてナルトビエイやクロダイ等の食害からアサリを守ったり、八幡川の運搬作用で堆積した土砂に焼いて粉状にした牡蠣殻をまいて耕運機で干潟を耕したり等の多くの取組を行い、アサリが生育できる環境を大切に整備されていることを知りました。井口漁業協同組合の方々のお陰でたくさんの大きなアサリを掘ることができ、大変、美味しくいただきました。

私たちも広島湾の現状と課題を知り、豊かな海を未来につなげる活動を続けていきたいと考えています。

